

(通算第 132 回)

令和 7 年 第 5 回京丹後市議会 (9 月定例会)一般質問通告表

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
1	翔和会 多賀野 一彦	1 シニア層に特化したまちづくり (1) セカンドライフを受け入れ、活かせるまちづくり (2) セカンドキャリアを受け入れ、活性化するまちづくり (3) 二地域居住によるまちづくり	市長
2	政溪会 和田 晋	1 山陰近畿自動車道延伸を契機とした戦略的まちづくりについて (1) 延伸事業の進捗について問う (2) インターチェンジと地域の将来設計 (3) サービスエリア整備の在り方について (4) 「通過点」でなく「目的地」に！市長が描くまちづくりのビジョンを問う	市長
3	政溪会 小牧 裕幸	1 小中学校の給食について (1) 物価高騰による食材料の仕入れに影響があるなかで、市が補助金を出して学校ごとに運営されている	市長
		2 高齢者の日常の暑さ対策について (1) 近年、夏季の猛暑が続く中で、高齢者の方へ暑さ対策について	市長
		3 避難所の現状について (1) 国が示す令和6年12月改定の避難所運営指針の改定に伴う本市の対応、現況について	市長
		4 業務継続計画(BCP)について (1) 災害発生時や感染症パンデミック等有事の際に必要な業務継続計画について	市長
4	政溪会 谷津 伸幸	1 山陰近畿自動車道の延伸を見据えたまちづくり (1) まちづくり計画の策定プロセスと市民参加の促進について (2) 地域資源を活かした土地利用と民間投資の誘導について	市長
		2 公共施設の「維持管理」と「未来」 (1) 維持管理の考え方について (2) 「廃止」「譲渡」における透明性と基準について (3) 財政健全化と新規施設整備のバランスについて	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
5	政溪会 野木 教貴	1 脱炭素化と農業強靱化の両立について (1) 本市において、温室効果ガス削減と農業の強靱化を両立させる「脱炭素型農業」をどのように位置づけ、将来ビジョンの中でどのように推進していくのかを問う (2) もみ殻・竹林・畜糞など、地域資源を炭化して農地に施用する「バイオ炭」は脱炭素と土壌改良の両立策であると考えるが、本市における実証や普及の可能性について、どのように考えているかを問う (3) 気候変動により水不足や土壌劣化のリスクが高まっている。持続可能な農業のために、水資源の効率利用や土壌メンテナンスの支援策をどのように展開するのかを問う (4) 農業の脱炭素化によって創出される「J-クレジット」を農業者の新たな収益源となる可能性があるが制度の理解や仕組みについて理解が進んでいないと考える。まずは知る機会の創出を考えてはどうか	市長
		2 持続可能な消防団のあり方について (1) 消防団条例に定める人員を割っている現状を本市はどのように受け止めているのか。また、その現状に対する対策について問う (2) 今後の人口減少時代において、消防団活動のあり方や分団の再編について、本市は長期的にどのように考えているかを問う (3) 消防団組織を維持していくために「京丹後市消防団意識調査」を実施したがどのような課題があり、対策を講じてきたのかを問う (4) 本市では、支援消防団員制度を導入し、消防力の充実を図っているが、その活動実績や現役団員との協力関係について、本市の評価と今後の展望について問う	市長
6	政溪会 吉岡 正一	1 京丹後市の高齢社会に伴う課題について (1) 独居高齢者及び独居世帯の増加に伴い、高齢者の急病や家庭内事故に対する対策について (2) 高齢者の健康不安に対する対策について (3) 独居高齢者世帯における火災対策について	市長
		2 新たな観光政策について (1) 夕日が美しいと評価される夕日ヶ浦海岸をはじめとする京丹後市の海岸線の保全にふるさと納税を活用することはできないか (2) 京丹後市の美しい海岸を利用した「川床」ならぬ「海床」を検討してはどうか	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
6	政溪会 吉岡 正一	3 熊の目撃情報とその対応策について (1) 京丹後市における最近の目撃情報と過去の推移について (2) 全国的に熊の出没が報道される中、目撃情報を把握(連絡を受けた)後、地域や市民への周知などの対応は (3) 改正鳥獣保護管理法施行に伴う体制整備の見通しについて	市長
7	日本共産党 田中 邦生	1 コメの増産で農業と農村を守れ (1) コメ不足と価格高騰の原因は (2) 政府のコメ増産の方針は何か、これまでとどこが違うのか (3) 農業をめぐる高温、カメムシ、豪雨被害、トランプ関税など課題は山積 (4) コメの増産、需給と価格に責任をもつ政治を	市長
		2 道路上に張り出した樹木の伐採は急務 (1) 市道への樹木の張りだし状況の把握は (2) 地区から張り出し樹木の伐採要望と対応は (3) 道路法44条に基づく「沿道区域の指定」の検討をすべきではないか	市長
		3 事前連絡なしの日米合同訓練問題について (1) 米軍基地使用に関する10項目の要望に基づく事前通知について (2) 住民からの日米合同訓練目撃の通報と対応はどうであったのか (3) 文民統制が大きく揺らいでいる事例であり住民への説明が求められる	市長
8	日本共産党 橋本 まり子	1 渇水と高温障害の非常事態。農家が安心して経営を続けられる恒常的対策を (1) 渇水対策では市が迅速に支援策を講じていただいた。市としての総括と課題は (2) 収入減になる農家への支援策は (3) 共済加入に対する補助を	市長
		2 災害時の避難所になる学校体育館の空調整備の進捗と今後の優先度は (1) 体育館のエアコン設置に関しての検討の状況は	市長 教育長
		3 国の医療費削減の流れの中で、市民の医療をどう守るか。自治体の役割を問う (1) 国の動きに対する受け止めと市民への影響についてどのように分析しているのか (2) 市として市民の負担を軽減するため、独自の支援策や補完制度の導入の検討は (3) 国へ制度の見直しや、市独自支援策への補助などを求める声を上げる必要があると考えるが	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
9	日本共産党 平林 智江美	1 放課後児童クラブについて (1) 事業は京丹後市総合サービス(株)への委託になっているが市の責任について問う (2) いさなご放課後児童クラブについて (3) 他のクラブで利用人数が多くて、大変と聞いているが実態をつかんでいるか	市長 教育長
		2 特別障害者手当について (1) 利用実態は (2) 該当者へのお知らせはどのようにされているのか	市長
		3 訪問介護事業所への支援策について (1) サービス継続のため市独自の手立てが必要である	市長
		4 物価高騰対策を (1) 市民の暮らしの実態をどう把握しているか (2) 対策・支援についてどのように考えているか	市長 教育長
10	日本共産党 源 進一	1 伝統産業支援について (1) 着物離れは、和装が否定されているからではない。低い給与、ゆとりのもてない生活の影響と 考えているが、市の認識を伺う (2) 帯の事業者に起きている変化に対応した支援について (3) 新規就業者の技術習得の支援を (4) 経験が必要な職種の技術データ共有と保存・テキスト化について (5) 地域内事業所調査で現状把握を	市長
		2 グローバル人材育成事業について (1) 保護者の所得事情で申し込みを断念しなければならないという事態を避けるようにすべきだが (2) 誰もが挑戦できる機会が得られるよう配慮した制度にすべきだ	市長 教育長
		3 防災について (1) 防災に係わる情報は施策と共に発信されている。それにも関わらず、認知されていない。広報の あり方について工夫を (2) 地震における被災後3日間の避難所運営について (3) 地震の避難訓練は、型通りでなくシミュレーション的におこなってはどうか	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
11	永井 友昭	1 財政強靱化計画と立地適正化計画について市の認識を問う (1) 財政強靱化計画 (2) 立地適正化計画	市長
		2 市政の諸課題について (1) 猛暑の中、今年度の市内各小学校の水泳教室は各校の計画通りに実施できたのか (2) PTAのプール開放の状況は (3) 本市小学生の卒業時における泳げる児童の率は。また水中での安全確保の技術取得の状況は (4) 昨今の夏季の天候事情を思うと年間を通じて子ども達が利用できる市民プールが必要である と思うのだが、市教委としての今後へ向けての見解は (5) 公営プール在り方検討会の現時点での検討状況は	市長 教育長
		3 米軍・自衛隊等に関わる問題 (1) 7/10の経ヶ岬米軍基地における事前連絡なしの合同訓練について (2) 9/16から9/24に「オリエンタール25」の一環として経ヶ岬では12回目の日米合同訓練が行われると聞けが、その参加人員、関係車両や武器、訓練内容などはどのようなものか (3) 8/30(土)にまた事前情報なく朝から発電機が稼働していた。どうしてそういうことが続くのか (4) 特別注視区域について	市長
12	松本 聖司	1 まちづくりと財政について (1) 都市拠点構想等に係る公共施設整備基本計画等の取り組みと今後について (2) 歳出の抜本的見直し(レビュー)の効果と見込みについて (3) 第2次新経済戦略について (4) 学校長寿命化の計画は事業化できるのか (5) 空家対策のその後について	市長 教育長
13	鳴海 公軌	1 自然環境を守り、活かすまちづくりと、新クリーンセンターの財政見通しを問う (1) 現在、環境保全のための各種施策が行われているが、より一層の市民全体への波及あるいは全庁的な取り組みを求めたい。美しいふるさとづくり条例を活かして、より力強く推進することを求め、問う (2) 令和14年度供用開始に向け峰山クリーンセンターの更新が想定されているが、財政見直し上評価ができていない。現時点での詳細を問う	市長
		2 公共施設の最大活用と保有量の抑制について問う (1) 本市が多くもつ公共施設の維持管理には多額の経費が必要となることが計画に記載されている。最大活用とともに、どのように対処していくのか詳細を問う	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
14	佐久間 仁美	1 高齢者施策について (1) 健康寿命の延伸に向けた取り組みについて (2) 生活支援について	市長